

## 議会報告会 報告書

秦野市議会議長 横山 むらさき 様

環境都市常任委員会委員長 大野 祐司

開催日時	令和6年11月13日（水）午前10時から午前11時45分まで
開催場所	市役所本庁舎4階 議会第一会議室
出席委員	委員氏名（役割）
	横山 むらさき（議長あいさつ） 大野 祐司（全体進行、意見交換会資料説明） 田中めぐみ（1班班長・進行、議会報告会資料説明） 風間 正子（1班書記） 高橋 文雄（1班書記） 伊藤 大輔（2班班長・進行） 吉村 慶一（2班書記） 阿蘇 佳一（2班書記）
参加者数	陸田 様（西湘地域連合） 大津 様（西湘地域連合） 有働 様（西湘地域連合） 藤井 様（西湘地域連合） 槻橋 様（西湘地域連合） 蝦名 様（西湘地域連合） 齊藤 様（西湘地域連合） 國光 様（西湘地域連合） 三浦 様（西湘地域連合） 関野 様（商工会議所建設部会） 栗野 様（商工会議所建設部会） 秋山 様（商工会議所観光飲食部会） 椎野 様（商工会議所観光飲食部会） 内藤 様（秦野市農業協同組合）
主な流れ	1. 開 会 2. 議長あいさつ 3. 常任委員会委員及び参加者の紹介

	<p>4. 環境都市常任委員会の政策提言について  テーマ：人手不足の状況下における持続可能な地域経済の活性化  (1) 大野委員長より分析部分について、これまでの協議結果を報告  (2) 現状・分析について意見交換  (3) 大野委員長より戦略部分について、これまでの協議結果を報告  (4) 戦略について意見交換</p> <p>5. 議会報告  6. 議会報告の意見交換  7. 閉会</p>
<p><b>内容</b>  (話し合われた  課題や意見、所感  等)</p>	<p><b>【目的・目標】</b>  これまで政策提言のテーマである「人手不足の状況下における持続可能な地域経済の活性化」について、環境都市常任委員のメンバーで意見を出し合い、協議してきたことが、実際に市内企業などと意見交換をすることにより、「分析」・「戦略」の両方において検証し、より具体で深みのある提言につなげる。  様々な業種や立場の方と意見交換を行うことにより、それぞれの課題や課題に対する対策・戦略をどのように行っているのか共有し、今後の取組に生かす。</p> <p><b>【主な意見】</b>  <b>【現状・分析】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製造業と建設業では、現場で実際に作業する人が集まらない。(集まっても定着しない。)</li> <li>・ 単純作業の繰り返しに魅力を感じる人が減っている。</li> <li>・ 賃金を上げたからといって人が集まらないため、やりがいやワークライフバランスを重視する若者が増えている。</li> <li>・ 研修期間に日勤で働いていた社員が、夜勤になると、途端に当日来ず退職するケースが増えている。</li> <li>・ 非正規雇用の社員で、優秀な人材に正規職員を提案しても断られるケースが増えている。</li> <li>・ 製造業の作業員で高校生を採用する際に、昔であれば県内で十分人の確保を行うことができたが、現在は九州まで求人を行っても足りない状況にある。</li> <li>・ 飲食業（居酒屋）の調理を担う人手不足が著しい。</li> <li>・ 需要が多くある夜の時間帯に働いてくれる学生の人手が不足しており、3月に卒業したあとの採用が難しい。</li> <li>・ 定年が伸びているため、老後は農業をやろうと思っていた人が会社で働いているため、農業従事者がさらに高齢化している。</li> </ul>

- ・新規就農者は、収入につながるのに時間がかかることが課題。
- ・農業を始めるにあたり、家から近く、鳥獣被害の少ないところが求められるため場所が限られる。

#### 【戦略】

- ・学生に市内企業を紹介。
- ・街の住みやすさアップ。(ここで仕事を探したいという気になる。)
- ・公共交通機関の充実。(混まない道路などのインフラ整備。)
- ・東海大学の学生と企業のマッチングの場を提供する。
- ・企業誘致(大企業)により街の魅力が向上。(雇用促進。)
- ・農業分野で収穫時期などの繁忙期に人手を確保する仕組みの形成。
- ・たばこ祭など多くの人があるイベントで企業の紹介を大々的に行い、市内の企業を知ってもらう。
- ・SNSを活用して市内企業の取組を市民へ発信する。

#### 【班長の所感】

人口動態の変化が、高齢化による労働需要の増加と、少子化による働き手不足の主な要因になっていることは間違いないが、今回の政策提言のテーマが大きい故に、より具体的で効果的な政策提言を考えることが重要だと改めて感じた。

意見交換をする中で、自治体に取り組んでいる、UターンやIターンを狙った就職説明会の開催補助や、学生向けの市内企業の紹介などは継続して行うべきだと思ったが、これからは、よりすき間時間を利用した企業と働き手のマッチングや、生活を維持するためのサービスに対しての人手不足(農作業、道路の補修、介護・保育の担い手不足など)が加速していくと考えるため、その分野への対策も非常に重要だと感じた。

#### 【委員長の所感】

西湘地域連合、秦野商工会議所、秦野市農業協同組合との意見交換会では、それぞれの立場から現場に密着した建設的で前向きな意見・要望を数多く提示してもらい、新たな気づきや発見に繋げることができた。意見交換会を行うことで気づくことができた新たな提言を最大限参考にしながら、よりハイレベルな政策提言とするために、委員の皆と知恵を出し合い、汗をかきながら、まずは全員協議会に向けて取りまとめを行っていききたい。

**【参加者の所感（アンケートより抜粋）】**

- ・他業種の方々と議論する良い機会になった。
- ・どの分野を秦野市の強みとしていくのか絞るのも1つの方法だと感じた。（1つの産業が成長すれば、それに伴って配偶者等の人口が増え、他の産業の労働人口確保にもつながるのではないか。）
- ・どの産業も人手不足の状況があると感じた。
- ・様々な業種の意見を政策に生かしてほしい。
- ・充実した意見交換だった。
- ・政策に対して、個人としても意見を伝えることができ、良い機会となった。
- ・もう少し企業分野が分かれたほうが話が深まると感じた。
- ・秦野市の魅力をもっとPRして、市内の労働人口を増やしてほしい。
- ・議論を深めるためには時間が足りないと感じた。